

TECHNICAL DATA

仕上りの種類	セメント系下地調整塗材 2種 (下地調整塗材C-2)
製品名	BR # 5

第2版 作成日： 2016年11月16日



菊水化学工業株式会社

標準施工仕様書

- 種類 : セメント系下地調整塗材 2種 (下地調整塗材C-2)
- 製品名 : BR#5
- 素地 : コンクリート・セメントモルタル 等
- 適応範囲 : 建築物の内外装工事の下地調整塗材
- 工程 :

新規下地

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (20℃)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下地調整	BR#5 粉体: 20kg 混和液: 2.2kg 清水: 4~5 L	金ごて	1 ↳ 2	16以上※ 工程内 1以上	約1.5kg/m ² (1mm厚) 約15m ² (1mm厚) 混練比重: 約1.8kg/m ³ 練り上り容量: 約15%

※施工後の仕上材を施工するまでの塗装間隔時間は、水系仕上材の場合、16時間(23℃)以上、溶剤系仕上材の場合、72時間(23℃)以上として下さい。

● 施工上の要点

- (1) 下地の乾燥は、十分行って下さい。
- (2) 豆板、各階打継部、コールドジョイント、大きな亀裂などは、予め合成樹脂入モルタル又は「BR-CL」で補修して下さい。
- (3) 大きな目違いは、グラインダーがけ又は合成樹脂入モルタル又は「BR-CL」で予め補修します。
- (4) コンクリート面の突起物及びレイタンスは、グラインダーがけ又は皮スキなどで除去します。
- (5) 汚れ及び付着物は、ワイヤーブラシ・研磨紙・布等で除去し、必要に応じて水洗いして下さい。
- (6) 下地面が極度に乾燥している場合は、適度の水湿しをします。
- (7) 塗面に残留する金属(番線・くぎ等)は除去し、エポキシ系防錆塗料で防錆処理して下さい。
- (8) 清水4Lに混和液2.2kgを加えたのち、粉体20kgを徐々に加え均一に混ぜ合わせます。必要に応じて0~1Lの清水で軟度調整して下さい。
- (9) 調合後の可使時間は、1時間以内(20℃)です。

(10) 工法は、こて塗り又はへら塗りとし、下地の不陸が大きい時は、初めにすり込むようにして不陸調整を行い、最後に均一な厚さに塗り付けします。特に塗装下地の場合は丹念に平滑に仕上げてください。

● 注意事項

- (1) 気温が5℃以下の場合は施工を避けて下さい。
- (2) 強風及び降雨、降雪の場合又はそれらが予想される場合は施工を避けて下さい。
- (3) 材料の粉体は湿気や水掛かりに注意し、混和液は直射日光下及び0℃以下での保管は避けて下さい。

● その他の注意事項

- (1) 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにして下さい。
- (2) 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行ってください。
- (3) シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染や密着不良を起こすことがあります。詳しくは弊社営業所までお問い合わせ下さい。

性能試験成績書

種	類	セメント系下地調整塗材 2種	
商	品	名 BR # 5	
供	試	材 料 BR # 5	
試	験	方 法 JIS A 6916-2000に準拠	
項	目	規 定	結 果
軟	度	変 化 $\pm 20\%$ 以下	-3.2
耐	ひ	び	割
		れ	性
		ひび割れがないこと	
耐	衝	撃	性
		ひび割れ及びはがれがないこと	
付	着	標準養生	1.0 N/mm ² 以上
強	さ	低温養生	0.7 N/mm ² 以上
吸	水	量	1 g以下
耐	久	性	割れ, 膨れ及びはがれがなく, 付着強さが 1.0 N/mm ² 以上であること
			合 格 1.5
<p>※ 結果数値は試験値であり品質保証値ではありません。</p> <p>—以下余白—</p>			

